

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 小鹿野福祉会	代表者	理事長 笠原 敏彦	法人・ 事業所 の特徴	・自宅での暮らしを継続するためもうひとつの家になるよう、住み慣れた地域で安心してその人らしい生き方の実現を理念に掲げ、運営しております。 ・ご利用者やご家族と馴染みの関係を築きながら居心地よく利用ができるよう、地域の在宅介護の一員として、きめ細やかな支援をしていきます。
事業所名	小規模多機能ホーム 巨香の郷	管理者	鴨田 一恵		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	3人	1人	1人	人	人	4人	人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・今年度も2か月に1回事業所評価を振り返り、意見交換を行う。(ミーティング時)	・2か月に1回は事業所評価を振り返り、進捗状況を確認することができた。 ・ミーティングなので、一部の職員は勤務の都合で参加できなく意見を伝える機会がなかった。	・特になし	・年2回の多機能ホーム巨香の郷運営会議時に、事業運営の振り返りと進捗状況を伝え、多くの職員と意見交換を行いながら、運営していく。
B. 事業所のしつらえ・環境	・掃除や整理整頓を継続する。 ・引き続き、ご利用者からの意見や要望を積極的に取り入れ、事業所のしつらえや環境を整えていく。	・年末に5S活動月間と称し、普段やらない窓掃除やカーテンの洗濯、本棚の整理整頓を行った。	・事業所の雰囲気は明るい。掃除や整理整頓がされていると思う。	・来年度も5S活動強化月間を作り、整理整頓を行っていく。
C. 事業所と地域のかかわり	・開所10年目を迎えて、多機能ホームについて周知されてきている。今後も、行事やイベントに参加していく。 ・作品展や事業所の行事等、ご家族や地域の方が気軽に越しいただくよう周知していく。	・今年度も、行事やイベントに参加ができた。 ・行事や作品展等のチラシ配布や掲示をしたことで、ご家族や地域の方に来ていただけた。	・近所から、巨香の郷は特養(施設)だけではなくデイサービス(多機能)もあるといったことを聞くことが多くなった。周知させていると思う。	・多機能ホームのご利用者と特養ホームのご利用者が近所だったり知人だったりする。利用中面か等で関わりがもてるよう積極的に支援する。 ・今年度も、作品展行事等の開催をチラシ配布や掲示をする。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・ご利用者の要望に合わせて、事業所周辺の衣料品店や美容院飲食店に出向き、暮らしを支える関わりを行っていく。	・今年度も、ご利用者の要望に合わせて地域の美容院や商店に出向いた。	・特になし	・引き続き、ご利用者の要望に合わせて美容院や商店に出向き、暮らしを支える取り組みを行う。

E．運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議の議題に事例検討をいれ、事業所の具体的な関わり内容を報告し、委員の方から意見を頂戴する 	<ul style="list-style-type: none"> ・事例報告を行い、委員の方から意見や感想をいただいた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事例報告を聞き、事業所が行う具体的な関わりについて知ることができた。 今後は、他の会議（民生委員の会議、地区の会議）などに、出向き報告してもよいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度も、運営推進会議で事例報告を行い意見や感想をいただく。 報告する機会があれば、他の会議で事例を伝える。
F．事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> ・町の指定福祉避難所になっているので、物品の保管場所や受け入れ場所の確認を行う。 ・年2回、事業継続計画（BCP）の業務縮小基準表を用いて、業務の確認をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員研修で、物品の保管場所の確認と事業継続計画（BCP）の業務縮小基準表を用いて、業務の確認を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・法人の防災計画を知らなかつた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議で、法人の防災計画を説明する。